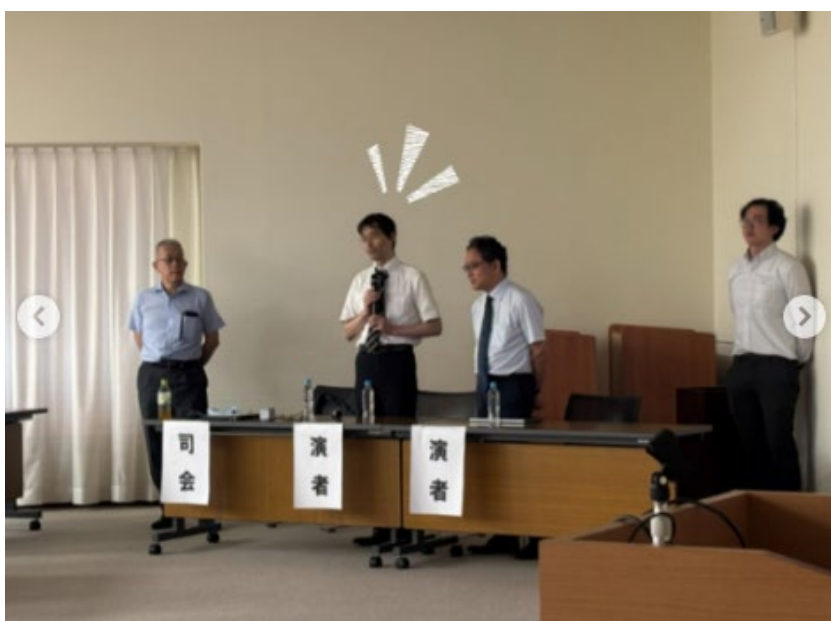


2025年頭頸部外科月間優秀企画賞 申請書

作成日 2025 年 8 月 14 日

地方部会名	栃木県地方部会	
代表者名	伊藤 真人	
活動のタイトル	老若男女幅広い層をターゲットにした多方面からの頭頸部がん啓発	
アピールポイント	栃木県は、医療機関・行政・メディアが一体となり、県民と医療者双方への頭頸部がん啓発を多方面から実施しました。 新聞・ラジオ・ポスター掲示など複数チャネルを駆使し、情報格差の解消と早期発見意識の向上に寄与しました。また、医療従事者向け研修と市民向け公開講座を行うことで、地域診療レベルの底上げと地域全体の予防・受診行動促進に取り組みました。	
表彰の対象となる取り組み等の概要を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	活動内容と波及効果(400字から600字程度で記入してください。) 栃木県では、頭頸部外科月間に合わせ、県民と医療従事者の双方に向けた多面的な啓発活動を展開しました。 まず、県内最大の地方紙である下野新聞(平均発行部数約30万部、県内占有率56.3%)と連携し、頭頸部がんの予防・早期発見の重要性や治療法の進歩を取り上げた特集記事を掲載することで、広く一般市民への情報発信を行いました。 さらに、下野市を中心とするFMゆうがとおと協力し、ラジオ番組で専門医による解説を放送しました。耳から入る情報として高齢層を含む幅広い層をターゲットとして、メッセージを届けました。 また、県内の主要医療機関など約150施設へに啓発ポスターを掲示し、外来患者や来院者、さらには医療者自身への注意喚起を図りました。 医療従事者向けには、カンサーボード講習会を開催し、中咽頭癌や頭頸部癌の最新診療ガイドライン、診断・治療の実際について共有することで、専門職間の連携強化と診療レベル向上を促しました。 一方、市民向けには公開講座を実施し、新聞やラジオだけでなく、Instagramによる周知活動も並行して活動を行いました。咽頭癌や甲状腺がんの症状、リスク因子、予防策、そして早期受診の重要性をわかりやすく解説しました。参加者(約80名)からは「身近な症状にも注意するようになった」などの声が寄せられました。 これらの取り組みは、新聞・ラジオ・ポスター・講演会といった多様な媒体を通じ、県民のがんへの関心を高めるとともに、医療者の知識と対応力を強化しました。その結果、地域全体で頭頸部がんの早期発見・適切治療に向けた機運が醸成され、他県への啓発モデルとしても波及する効果が期待されます。	
無料相談会		事前に参加者に相談内容をご記入いただき、問診票をもとに各相談医が個別対応を行いました。 会場には個室ブースを設営し、プライバシーに配慮した環境を整えたことで、参加者は安心して多岐にわたる質問を行うことができました。 参加者からは「落ち着いて相談できた」「医師とじっくり話せた」といった声が寄せられ、非常に高い評価をいただきました。

市民公開講座



ポスター告知

入場料無料
申込み不要

2025年 頭頸部外科月間
栃木県市民公開講座

どなたでも
ご参加
いただけます

生きるとをえる
頭頸部外科ってなに?

令和7年
日時 8月3日 15:00~16:10

会場 自治医科大学敷地内
地域医療情報研修センター1階 大会議室

司会 横島一彦 (栃木県立がんセンター 頭頸部腫瘍科)

ご挨拶 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会
会長 伊藤真人 (自治医科大学 耳鼻咽喉科)

講演 1 『口・のどの中のがんの話』
加藤 大星 医長
(栃木県立がんセンター 頭頸部腫瘍科)

講演 2 『甲状腺の病気の話』
福原 隆宏 准教授
(自治医科大学 耳鼻咽喉科)

一般社団法人
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会

入場料無料
申込み不要

2025年 頭頸部外科月間
栃木県市民公開講座

どなたでも
ご参加
いただけます

生きるとをえる
頭頸部外科ってなに?

令和7年
日時 8月3日 15:00~16:10

会場 自治医科大学敷地内
地域医療情報研修センター1階 大会議室

司会 横島一彦 (栃木県立がんセンター 頭頸部腫瘍科)

ご挨拶 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会
会長 伊藤真人 (自治医科大学 耳鼻咽喉科)

講演 1 『口・のどの中のがんの話』
加藤 大星 医長
(栃木県立がんセンター 頭頸部腫瘍科)

講演 2 『甲状腺の病気の話』
福原 隆宏 准教授
(自治医科大学 耳鼻咽喉科)

一般社団法人
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会

医療職向け

第4回
栃木県頭頸部癌
カンサーボード講演会

司会 野田昌生 (自治医科大学 耳鼻咽喉科)

ご挨拶 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会栃木県地方部会
会長 伊藤真人 (自治医科大学 耳鼻咽喉科)

日時 7/17 18:30~20:00

申込方法 [URL]
<https://forms.gle/JxTsmis5GChneM5Q6>
[QRコード]
スマホで読み取るだけ!
かんたん申込フォーム

参加方法 Zoom
(お申し込み後、開催当日に
参加URLをお送りします)

講演① 『無症状の頭頸部癌への
アプローチ』
-咽頭癌在癌の対応-
今井 寛太
Kaunito Inai
(自治医科大学
耳鼻咽喉・頭頸部外科)

講演② 『頭頸部の症状から
診断へのアプローチ』
横島一彦
Kauniku Yokoshima
(栃木県立がんセンター
頭頸部腫瘍科)

一般社団法人
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会

本イベントの周知にあたり、県内の診療所・病院・大学病院など約150施設へポスターを配布しました。ポスターは掲示用と配布用の2種類を作成し、それぞれの目的に応じたデザインと情報構成としました。

- 掲示用ポスターは、視認性を重視し、施設内で目に留まりやすいようにレイアウトを工夫。
- 配布用ポスターは、手元で詳細情報を確認できるよう、イベント内容や申込方法などを丁寧に記載しました。

視覚的に訴求力のあるツールとして、医療機関を通じた広報活動に効果的に活用され、地域住民への認知度向上に貢献しました。

下野新聞掲載 健康面(26面)		2024年7月29日(火)、下野新聞健康面(第26面)にて、本イベントの告知記事が掲載されました。 下野新聞は栃木県を代表する地方紙であり、2024年下半期の平均発行部数は約258,000部。県内普及率は30.1%、占有率は56.3%と、全国紙を上回るシェアを誇り、地域への情報発信力が極めて高い媒体です。 今回の無料相談会および市民公開講座に参加された方の約70%が、下野新聞を通じて情報を得たと回答しており、告知媒体として非常に有効であったことが確認されました。 － 無料相談会: 7名が参加し、個別相談を実施 － 市民公開講座: 75名が来場し、講演を聴講 地域密着型メディアを活用した広報活動が、参加者の獲得に大きく寄与したと考えられます。
FMラジオ出演		FMラジオ番組にて、自治医科大学耳鼻咽喉科の福原隆宏准教授が出演し、頭頸部の役割や関連する病気について市民向けに分かりやすく解説。早期発見の重要性にも触れ、啓発に貢献されました。

SNS掲載による告知
【公式】自治医科大学
耳鼻咽喉科インスタグ
ラム



無料相談会および市民公開講座
の開催にあたり、下野新聞やFMラ
ジオなどの従来型メディアを通じて
の告知に加えて、自治医科大学耳
鼻咽喉科の公式Instagramアカウ
ントを活用し、SNS上でも情報発信
を行いました。

Instagramによる告知は、新聞やラ
ジオでは届きにくい若年層へのア
プローチに有効であり、実際に大学
生をはじめとする若い世代の参加
が見られました。

視覚的に訴求力のあるコンテンツ
を通じて、イベントの雰囲気や意義
を伝えることができ、参加者層の拡
大に寄与したと考えられます。